

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
41112	営農センター負担金事務	産業振興課	農政係	中村良治	足助和実	
一次評価年月日		平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線) 2141			
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分	予算コード	事業名(歳出予算見積書)			
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0603	農業振興事業			
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ		#N/A			
	章 (コード選択)	4章	活力ある産業とにぎわいのまちづくり			
	節 (コード選択)	1節	活力ある地域産業の創出			
	項[基本施策] (コード選択)	1項	農業の新たな展開の推進			
関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 9 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし				

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

農業関係者及び農業関係団体

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

農業振興のため、長期的、総合的な農業・農村の振興が図られるよう、地域営農組織の一本化、将来的には法人化を行い農業生産基盤を強化する。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 地域営農振興計画、営農振興方策の策定
- 地域営農組織の育成
- 農業の担い手、農業後継者の育成
-

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	地域営農組合の育成		15	15	15	1.00	15
	説明	地域営農組合の設立により、地域の農業を振興する。		目標値設定の根拠		地域営農センター数		
②	指標名					#DIV/0!		0
	説明			目標値設定の根拠				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	地域営農振興計画による組織数		5	5	1	0.20	1
	説明	地区営農組合の一本化により、地域農業を守り育てる。また、法人化を目指す。		目標値設定の根拠		地区営農組合数		
②	指標名					#DIV/0!		0
	説明			目標値設定の根拠				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度見込み
		5,836	6,057	5,697
対前年比	%		103.8	94
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		1,567	1,250	1,250
B)一般財源(税金)		4,269	4,807	4,447
①事業費	(千円)	3,203	3,660	3,295
対前年比	%		114.3	90
②人件費の概算	(千円)	2,633	2,397	2,402
対前年比	%		91.1	100.2
		年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)		2,633	2,397	2,402
臨時職員		0	0	0

課長 課長補佐 係長 一般職員 延べ人数

	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24
町職員(正規職員)	0.03	0.03	0.03	0.17	0.16	0.17	0.00	0.00	0.00	0.12	0.12	0.12	0.32	0.32	0.32
臨時職員							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後可能性はない	A・Bの場合その具体的な内容をお書きください 営農センターの在り方を含め検討が必要。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している C 把握していない	A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 役員会、連絡協議会、幹事会、代表幹事会で把握

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

営農組合の一本化について、設立検討委員会で検討を行った。また、地区説明会を開催して理解を深めた。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

営農組合の一本化を進める。また、将来的には法人化も視野に入れて進める。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

農業振興事業交付金

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

窓口を含め農業者が必要とするセンター組織に変えていく取り組みが必要

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止



b 上記 a~e を選択